

Vol. 146

2017.1.10

理事長トーク Top Interview

全病院・施設を回って、年頭の挨拶と
永年勤続表彰を実施しています。 Part. 1

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男

健育会グループは、1月4日が2017年の仕事始めでした。今年は、年頭所感の講話を竹川病院からテレビ会議システムを使って全病院・施設に発信しました。

年頭所感の内容については、2017年1月1日にアップした理事長トークのvol.145に全文を掲載しています。その内容に加え、講話では以下の内容をお話ししました。

今年は、2ヶ所に新しい病院・施設を開設します。春には「ねりま健育会病院・ライフサポートねりま」180床、そして秋には「湘南慶育病院」230床が、新しくグループに加わります。これにより、健育会グループ全体では2000床を超えることになります。1年のうちにトータルで400床を超える病院・施設を開設するということは、グループ全体としてもかつてない大きな挑戦になります。この2つの新しい病院・施設を成功に導くためには、皆さん一人ひとりが自らに与えられた役割を果たすこと、つまり働いている既存の病院・施設がしっかりと足元を支えることが大切です。



その足元を支える原動力は、皆さんの使命感です。使命感とは、プロフェッショナルが持つ「奉仕の心」です。ここでいうプロフェッショナルとは、高い技術と倫理観を持つ医療人のことを指します。そうは言っても、毎日仕事をしている中で「奉仕の心」を常に持つのは難しいことだと思います。しかし、大事な局面では「奉仕の心」を持って患者さん・ご利用者に接してください。皆さんの「奉仕の心」の対応が組織全体に波及することで、健育会グループがクライアントから高い評価を頂くことにつながるのだと考えています。

2017年を皆さんと共に成功の年にすることを、ここで誓いたいと思います。



その後は長年、竹川病院に勤めていただいている職員の皆さんに感謝を伝える恒例の永年勤続表彰式を行いました。竹川病院から10年勤めた方6名、ケアセンターけやきから10年勤めた方が2名、全8名の表彰を行いました。

表彰後、竹川病院・ケアセンターけやきから、それぞれ1名ずつ代表者に感謝の言葉をもらいましたが、それぞれ理念達成に向けた高い志が語られており、大変頼もしく感じました。



竹川病院・ケアセンターけやきを皮切りに、今年も私が全病院・施設を回って、年頭の挨拶と永年勤続表彰を実施しています。健育会グループ最大のチャレンジの年となる今年、「一人ひとりの使命感が、ビジョン実現の原動力です。」というスローガンのもと、職員の皆さんと心をつなげて前進していきたいと考えています。



1月4日 茅ヶ崎セントラルクリニック



茅ヶ崎セントラルクリニックでは、病診連携に関わる研修に参加するなど、2017年秋に開設する湘南慶育病院との連携を視野に入れた準備を進めており、湘南慶育病院に入職予定の職員の受け入れも行なっています。そのような背景もあってか、新病院に触れた年頭所感を自分のこととして熱心に聞いている姿が見られました。その後、勤続15年の職員2名の表彰を行いました。

1月5日 ケアポート板橋



板橋区の社会福祉法人の中でも、不二健育会は長い勤続年数の職員が多い施設です。その事は、職員の皆さんが特に高い使命感を持っている証しだと思い、大変嬉しく感じています。私から職員には、これから予想される介護報酬の一層の切り下げ等厳しい局面の中で、「アメーバ経営を導入していくこと」や「全員一致の経営でこの難局を乗り越え、光り輝く社会福祉法人になって欲しい」という話をしました。

1月6日 花川病院



花川病院は、予算達成度も高く健育会グループの中でも優等生です。永年勤続賞の前には、「今年も昨年と同様に予算を達成することで、健育会グループを支えて欲しい」という話をしました。また、花川病院が応援しているレバンガ北海道の折茂社長兼選手が、「国内トップリーグ日本人選手初の通算9000得点達成」の報告に来院されました。「まだまだ、現役である以上はこれが通過点。コートに立った時には点が取れるように頑張っていきたい」と語る折茂選手。これからも活躍を期待しています。

1月7日 いわき湯本病院



いわき湯本病院では、勤続20年2名、勤続10年3名の表彰を行いました。勤続20年の職員の感謝の言葉では「健育会グループとなってからは、さまざまな研修や学会に参加させていただき、多くの学びを得る機会を頂いて、自分自身の成長に繋げることができていると実感しています。本日の表彰を励みに今後も多くのことを学び、その知識を生かしていけるよう努力していきたいと思います。」と自身の成長と今後への健育会グループへの貢献についてのスピーチに、私も嬉しく思いました。